

# 衆議院災害対策特別委員会ニュース

平成 20.6.24 第 169 回国会第 6 号（閉会中審査）

6 月 24 日、第 6 回の委員会が開かれました。

## 1 派遣委員からの報告聴取

- ・平成 20 年岩手・宮城内陸地震による被害状況等調査のため、岩手県及び宮城県に派遣された委員を代表して、鈴木委員長から報告を聴取しました。

## 2 災害対策に関する件

- ・泉国務大臣（防災担当大臣）、松島国土交通副大臣及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

### 伊藤 信太郎君（自民）

平成 20 年岩手・宮城内陸地震

- ・現在の被害状況はどのようになっているか、特に、道路・河道閉塞・ライフラインの被害状況と復旧の見通しはどうか。
- ・激甚災害を早期に指定してほしいと思っているが、どのような仕組み、基準で指定されるのか。また、激甚災害に指定された場合と、そうでない場合で、復旧・復興のスピードはどれくらい相違があるのか。

### 松原 仁君（民主）

平成 20 年岩手・宮城内陸地震

- ・今回の地震の発生確率は 0.1～3%ということだが、無視してもよい程度の確率なのか。そうでなければこの確率の持つ意味をしっかりと誤解のないように説明すべきではないか。
- ・今回の地震では、被災者生活再建支援法の適用はあるのか。

### 黄川田 徹君（民主）

平成 20 年岩手・宮城内陸地震

- ・防災行政無線の整備状況はどのようになっているのか。また、防災行政無線を整備している地方公共団体のうち、全国瞬時警報システム（J-ALERT）を導入しているところはどれくらいあるのか。
- ・今回の地震では、林地荒廃等の被害が発生しているが、激甚災害制度の適用対象となるのか。また、もし適用対象外ならば、このことについて防災担当大臣としてどのような見解をもっているか。
- ・河道閉塞が発生している磐井川水系の危険度をどのように評価しているか。また、河道の改善等復旧の見通しは

どうか。

### 榎屋 敬悟君（公明）

平成 20 年岩手・宮城内陸地震

- ・政府は早期に激甚災害を指定すべきと思うが、防災担当大臣の決意はどうか。
- ・平成 17 年 8 月の「中山間地等の集落散在地域における地震防災対策等に関する検討会提言」（以下「検討会提言」という。）をしっかりと実現すべきと考えるが、防災担当大臣の見解はどうか。

### 高橋 千鶴子君（共産）

平成 20 年岩手・宮城内陸地震

- ・検討会提言では、交通手段が途絶した孤立集落と外部との通信の確保が最重要と指摘している。今回も課題が浮彫りになったと思うが、どのように改善を進めていくのか。
- ・被災自治体における市町村合併の弊害について、どう対応していくつもりか、また財政的にも人的配置等に対し特別交付税措置等を手厚くする必要があると思うがどうか。
- ・基本的住居機能が喪失していることに着目して被害認定をするに当たり、市町村への技術力の支援を含めた実態に応じた判断ができるよう国がやるべきと思うがどうか。

### 菅野 哲雄君（社民）

平成 20 年岩手・宮城内陸地震

- ・局地激甚災害の指定について、市町村合併 5 年間の激変緩和措置後も旧市町村単位で適用が受けられるよう検討してほしい。
- ・学校の耐震化は早急に取組まなければならないが、今後

これをどのように進めていくのか。

- ・ 検討会提言の具体化が進んでいない。孤立集落対策は国が中心となって進めるべきだと思うが、今後どのように進めていくのか。